

つるのおんがえし



49号 平成25年2月発行

発行：株式会社 感動・創庫
〒259-1211
平塚市ふじみ野2-14-6-101
TEL/FAX:0463-67-1896
mail:info@kando-soko.com
http://:kando-soko.com
発行編集責任者：芦川永光

る、クルーの皆さんの「気持ち」にいつも助けてもらっています。もうこれ以上、寒い寒い、などとは言ってられませんね！よいし、もう一回走り始めるぞ〜！

ニッパチにこそ 出来ることを！



28日しか無い2月はピツタリ4週間。いつもより早く感じる月を過ぎれば、春は目の前です。少しでもだけヒマになるニッパチの今月中に、しっかりと土を耕し、種をまいて、暖かい時季を素敵に過ごせたら良いなあと思っています。2月21日に創業5周年をちゃっかり迎え、こんな時代でもどっこい生きる感動・創庫にも、人知れず大きな変化がやってきます。詳しくは来月のつるおんで。事業の方も、春からはガンガン走りますよ〜！

インフルエンザに 負けないぞ！



そういえば今年は、インフルエンザの流行が年またぎでやってきましたね。この時季のポスティング事業にとって、この問題はつきもの。とは言え、あまりに早すぎる襲来は完全に想定外で、現場はかなり混乱をしました。しかし、いせはらポストのクルーは皆さん強靱でした。お休みのスタッフの代わりに喜んで買って出て

ニングを、今年はまだ一度もしていません。4月に大会を控えているので、うーん、ヤバイです。体重が何とか増量せずに来れているのが、唯一の救いですが、お腹がゆるゆるタプタプしてきました（大汗）。花粉症の皆様にとっては煩わしい春ですが、僕にとってはカラダを目一杯動かせるウキウキの時季です。「あつたかい春よ、早く来〜い！」と叫んでしまうのは、私だけではないと思うのですがいかがでしょうか。

新しい年になってからというもの、例年同様、いや、それ以上に冷え込みが厳しい冬になったものだと日々感じています。お変わりありませんか？

こんにちは、感動・創庫の芦川永光です。2013年最初の「つるのおんがえし」をお届けさせて頂きました。こうも寒い日が続くと、出不精になっている自分が当たり前になりつつあります。これを書いて今日のは1月31日ですが、昨年あれだけやってたラン



タプタプ気味で初詣〜。



今年一年、頑張んべっ！



小田原さんぽ、2013年冬編



「鈴廣かまぼこ博物館」

かまぼこに集中特化した
ブランディングの徹底ぶりに感動！

鈴廣かまぼこをご存じない方のために、ちょっとだけご説明
慶応元年(1865年)創業の水産練製品製造の老舗。近年、かまぼこ博物館を
始め、地ビールレストランや本格和風料理店などの運営まで手がけ、かま
ぼこ一筋でグループ会社になるまで成長。箱根駅伝の復路、7区の中継点
として、毎年ちょこっとテレビで紹介もされています。

そんなかまぼこだらけの場所に行ってみました。かまぼこ作りの体験
会や、鈴廣かまぼこの歴史。さらにこれはホント面白かった「板絵ギャラ
リー」など。際立って特長が無いかまぼこという食べ物を、これだけブラン
ディングしているその徹底ぶりに、驚きを通り越して「上手い！さすが！」
感動の連続でした。さすが100年企業ですね。

「生命の星・地球博物館」

地球がもう少し太陽に近かったら、
地球がもう少し小さかったら、
どうなるってご存知ですか？



突然何だ？ですが、ココに入るとすぐ、そんな問いかけをされます。神奈
川県スゴイ！と誰もが思う素敵な施設です。野暮な僕にとっては「これい
くらするんだ？」と思ってしまうお宝ばかりが展示されています。

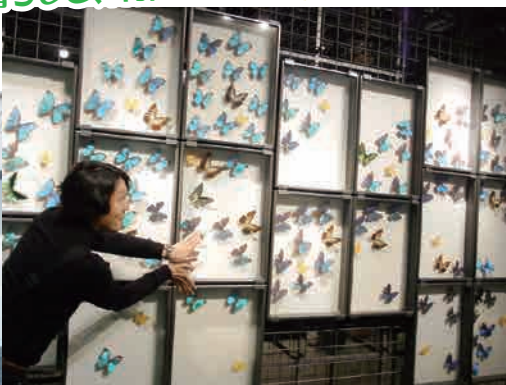
子供はもちろん、大人も行くたびに気づきを得られるこの博物館。僕は
ここに半日居ても飽きません。とっても楽しい場所ですよ。



キレイな水で作ってるから、ウマイかまぼこなんだなあ〜。



かまぼこの素晴らしさ、再認識です！



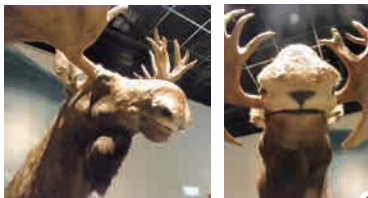
小田原は東名高速道路からのア
クセスも非常に良い場所です。他
にも小田原城や美味しい食べ物も
盛りだくさん。色々勉強になっ
て、さらに家族サービスまで出来
ちゃうおトクな場所、小田原。ぜひ
お出かけしてみてくださいね。



県内に流れる
いろんな川の
砂を見比べています。



正面からみたら、何が分からず
横から見たら、鹿の剥製でした。



遙か昔の地球に、思いを馳せます。



恐竜大きい!!
こんな実際にいたんだよなあ〜

日々激動の時代!
だからこそ芦川永光36歳、宣言します。

オヤジ化 対策委員会



今回のテーマ

「ネットとリアルの
境界線がなくなりつつある」

今やどこでも聞かれるお話なので、誰もが話すような内容ではなく、私を感じる「ネット(仮想)とリアル(現実の境界線)」について触れてみたいと思います。

**あなたの隣に、
北海道や沖縄の
お店がある?!**

先日、以前失くしていた万年筆を、アマゾンで購入しました。会員になっている私のものには、注文した荷物のほとんどが翌日に届きます。日本の宅急便サービスはやっぱり世界一ですね。

荷物は翌日、予定通り届き、箱に書かれた住所をふと見てビックリ。送り主の住所が伊勢原市だったのです。実に車で10分圏内。パソコンの前で注文をしたものが、そんな近くから届いたので、とても不思議な気分になりました。このお店、住所を確かめに行ってみると

実店舗は無く、そこはただの一軒家。単にモノを仕入れて売るだけならば、家賃や光熱費のかかる実店舗が要らなくなっているんですね。

**どうして
こんな「ネット」?**

具体的に理由をお話すると、無数にあり過ぎてキリがありません(汗)。ということ、たった一つに纏めるとすれば、僕は「平準化=コモディティ化」という言葉がふさわしいと思います。

**【平準化・コモディティ化】
競合する商品同士の差別化特性機能品質ブランド力などが失われ、**

価格や買いやすさだけを

理由に選択が行われること。機能や品質面で大差のない製品が多く流通し、消費者にとって「どの会社のもので買っても同じ」状態になること。

先ほど説明をした通り、リアルとネットの境界線は曖昧どころか、ほぼくつついている状態。パソコンの画面上では極論北海道と沖縄のお店が隣同士ってこともあるわけです。

つまり、今まで人通りの少ない商店街のお店や、地方にある小さなお店でも、都内のお店とも対等に競えるようになったのです。距離や地域のマイナスはネットの普及でほとんど解決されたんですね。これって良いことですよ。でも、この良い効果を実感出来ている人はホントに少ない。そんなんです。その原因がコモディティ化なのです。

サービスの質

コモディティ化を招いた要因は言うまでもなく、効率化、高品質化、といっ

たプラスの要因。中国製品が広く普及流通したことなども拍車をかけました。中国国内の労働者、9億人超が低賃金で雇用されている恩恵は、今私たちが日々買うことが出来る、低価格高品質(あるいはそれなり)の商品。100円ショップ、ファストファッションなどはその典型です。国内で

サービスを提供する側が苦しくなると、何がプラスだ!とも言えますが、結局、モノを買う生活者にとつてのプラスが進み過ぎた結果が、このコモディティ化というわけ。

どんなサービスも例外ではありません。もちろん私たちのサービス、広告デザインもポスティングも同様。商品・サービスの質が高まれば、コモディティ化はいずれ誰にでも必ず訪れるんです。

**コモディティ化
からの脱却**

=

**「どこで買っても同じ」
からの脱却**

この現実をしつかり受

け止めた上でも、決して悲観はしないでください。21世紀も13年目ともなれば、否が応でも時代の変化が訪れるものだから、誰もが実感している事と思います。ラジオ放送が始まった頃、新聞は無く

なると叫ばれました。テレビ放送が始まるとラジオが。レンタルビデオ店が登場すると映画館が無くなるまで言われていた時代があります。しかしどうでしょう。どれも未だにメディアの一つとして残っています。これは当たり前をやってきた

時代の変化であり、絞り込みが進んだ良い兆候です。ですから見方を変えただけで、もの凄いチャンスになるんです!
**ホンモノの時代、
だからチャンスは
無数にあります!**

障りの良いことはあまり言えないかもしれませんが、その代わり、ピンチをチャンスに変えたい人には、多いにお役に立てるものと思います。

当たり前の変化はそのまま受け入れて、ホンモノだけが生き残れる時代ならば、一緒にホンモノになりましょう。便利に使える道具があれば、骨までしゃぶり尽くすくらい使い倒しちゃいましょう。そう前向きに考えると、これからの新しい資本主義は結構楽しいはずですよ!

ということで今回は、ネットとリアルの境界線についての後編です。「東急ストアとクックパッド」というタイトルで、ネットと実店舗を連動させた、簡単販売アイデアについてお話をしたいと思います。境界線をうまく道具として活用すると、いろんな楽しいことが見えてきますからね。



心に響く
感動の格言

い親は
心配
しません。
信頼
するの
です。

Words by 齊藤一人

齊藤一人さんは、銀座まるかんの創業者。「うちどっさり」というコピーで大ヒットを飛ばした商品などを扱う会社。ご存知の方も多いと思います。今回の言葉はとっても短い中に、色々な捉え方が出来ると思います。

親と言うと、単純に子供との関係を想起しますが、仕事や普段の生活の中にも「親」と呼べる人が存在しているはず。人生の「親」から、信頼されていますか？そして、自分が「親」になって、信頼していますか？私も自分の胸に手を当てて、「信頼してる？されてる？」と深く見つめ直すことが出来た言葉でした。

編集後記

こんにちは、涼子です。今年も既に1ヶ月が経ちましたね。私の今年一年のテーマは『スリム化』になりそうです。というのも、最近のマイブームがモノを整理してコンパクトにしていこうなんです。ということ、お財布もとにかく薄いモノに新しく買い替えました。お財布にカードは4枚。その他のカード入れは別にしました。そして手帳も小さくしています。そんなところ、もっとうすればよかったと思うくらい、気分もスッキリしました。もともと片付けは好きな方なのですが、まだまだスリムに整理できるなあと、家を隅々見回している所です(笑)。



芦川画伯

今日のお題は…
ガチャピン

